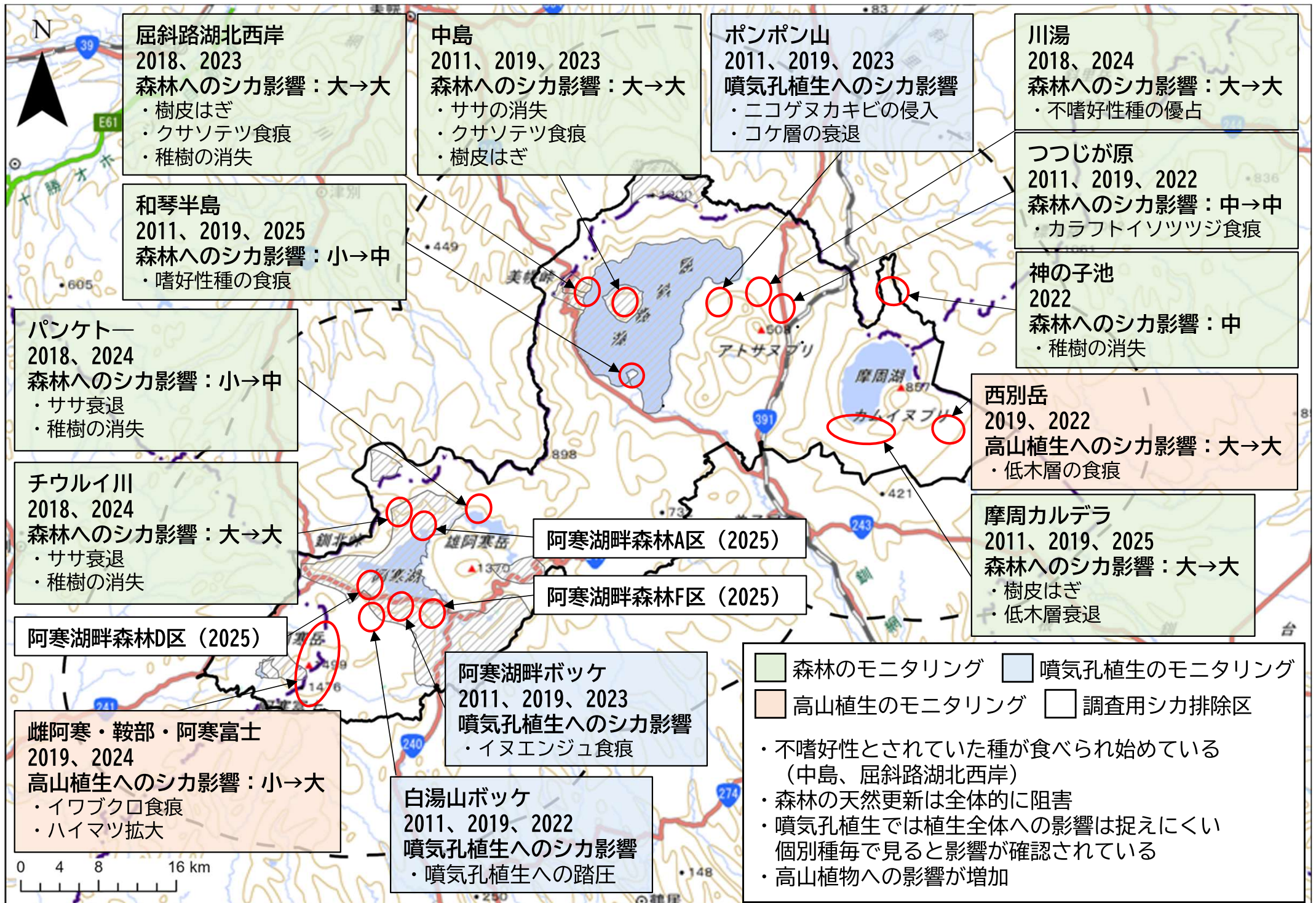


環境省の取組

(植生調査結果)

2011年以降の植生モニタリングまとめ

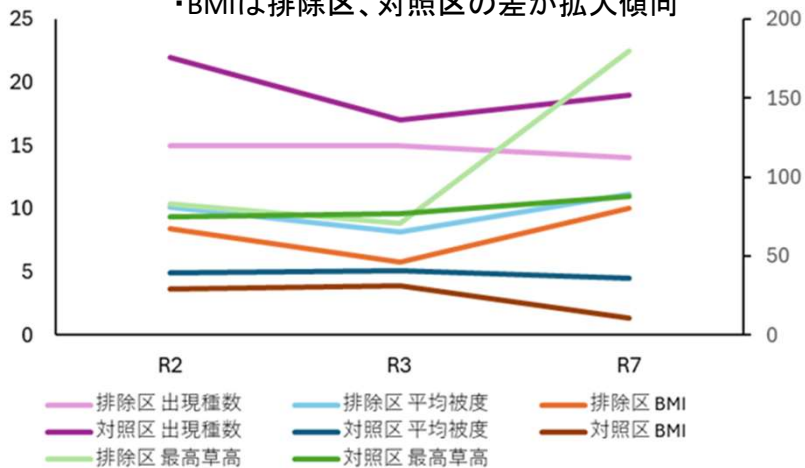


令和7年度 植生調査結果

阿寒湖畔森林: A, D, F 区

植生調査

- ・出現種数は排除区、対照区の差が縮小傾向
- ・BMIは排除区、対照区の差が拡大傾向



毎木調査

- ・対照区での加入は0
- ・5年ごと調査でも傾向は変わらず

稚樹調査

- ・対照区では広葉樹の枯死率がほぼ100%

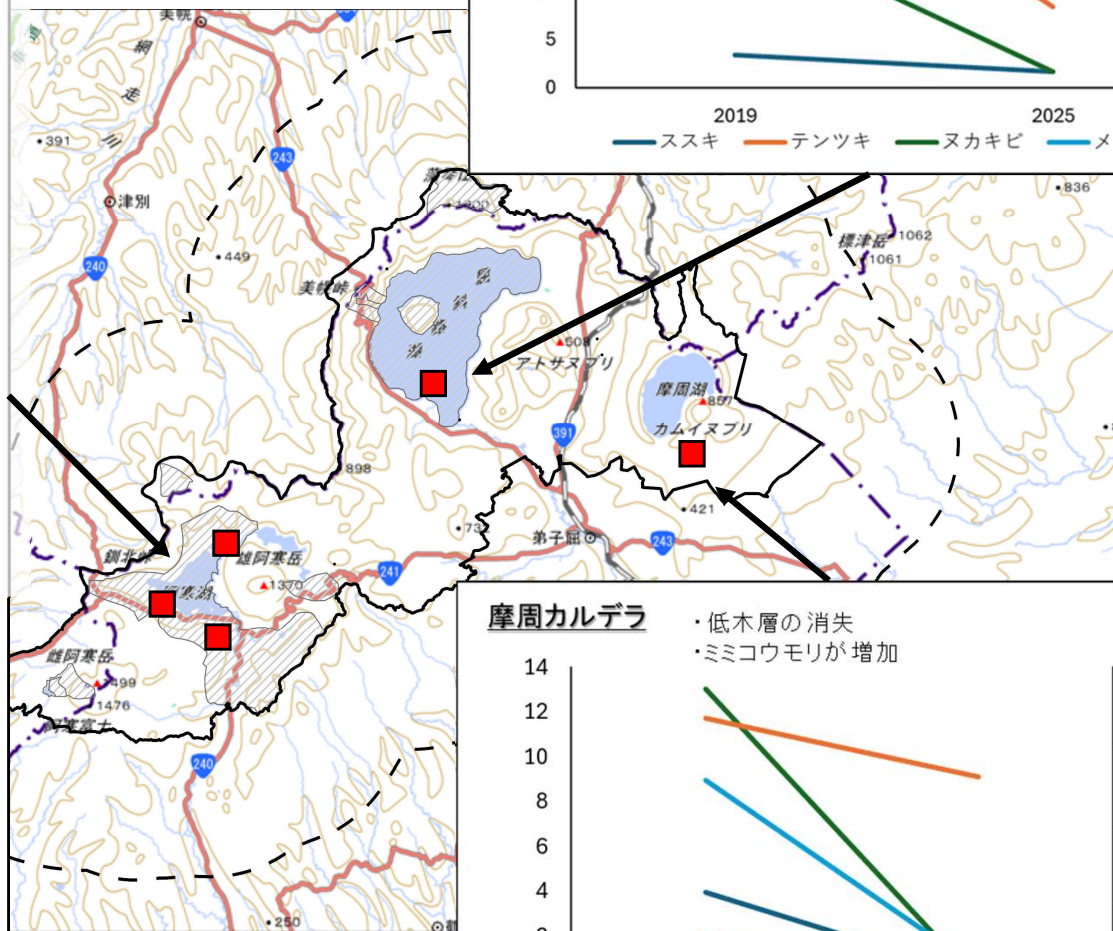
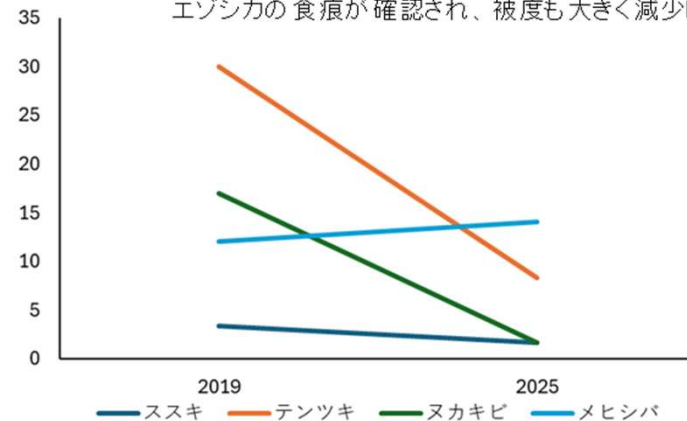
指標種調査

- ・対照区ではオシダはほとんどに食痕
- ・サラシナショウマの食痕が増加傾向

指標種食痕率	R3		R7	
	排除区	対照区	排除区	対照区
オシダ	6.67	65.12	7.63	96.94
サラシナショウマ	0.00	4.76	0.00	16.67

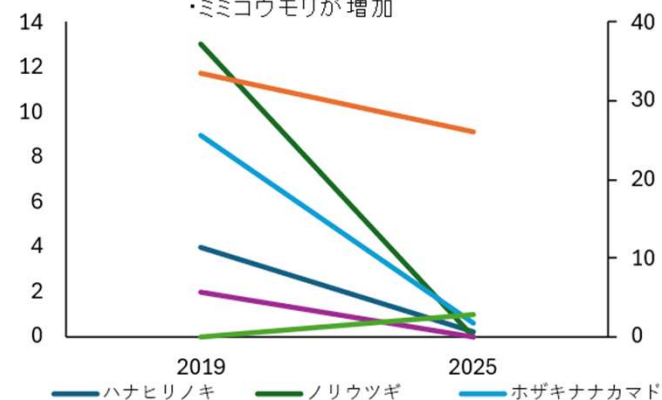
和琴半島

- ・噴気孔植生を特徴づけるテンツキでエゾシカの食痕が確認され、被度も大きく減少した

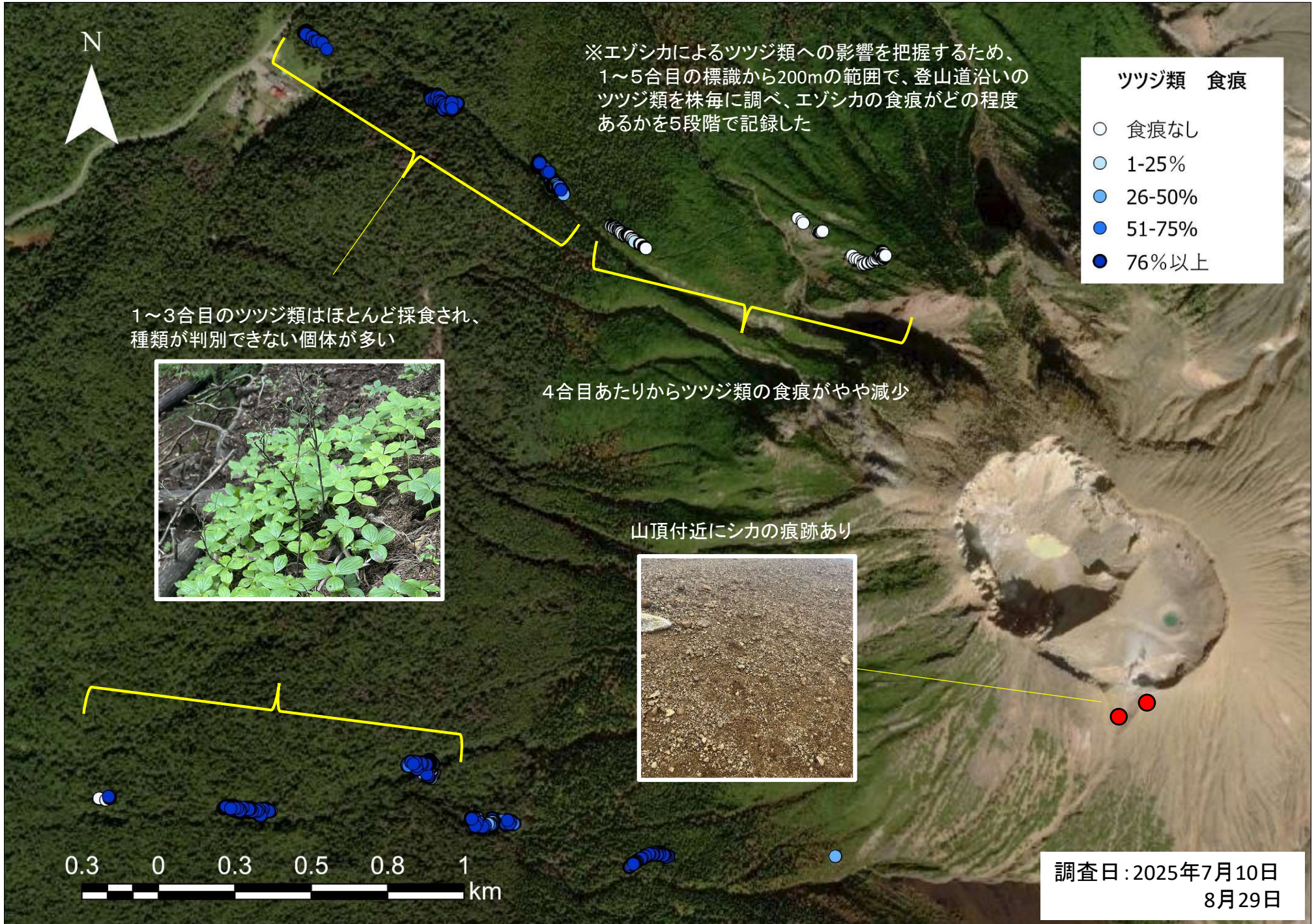


摩周カルデラ

- ・低木層の消失
- ・ミミコウモリが増加



令和7年度 登山道調査(雌阿寒:雌阿寒温泉コース～オンネトーコース)



令和7年度 登山道調査(雌阿寒:雌阿寒温泉コース～オンネトーコース)



令和6年度植生調査結果_調査区ごとの詳細

阿寒湖畔森林: 植生調査

		出現種数			平均被度			最高草高			BMI		
		R2	R3	R7	R2	R3	R7	R2	R3	R7	R2	R3	R7
A区	排除区	15	15	14	10.12	8.17	11.12	83	71	180	8.4	5.8	10.01
	対照区	22	17	19	4.91	5.07	4.51	75	77	88	3.68	3.9	1.3
D区	排除区	14	13	13	10	12.53	8.66	144	86	104	14.4	10.78	4.49
	対照区	15	15	14	5.46	5.45	6.1	38	43	45	2.07	2.35	1.17
F区	排除区	17	17	16	7.85	7.51	11.94	100	78	100	7.85	5.86	7.99
	対照区	22	22	23	8.35	6.79	3.11	93	103	86	7.77	7	0.85

- ・出現種数は排除区、対照区の差が縮小傾向
- ・BMIは排除区、対照区の差が拡大傾向
- ・被度が大きく違い、出現種も異なるため種ごとの比較が難しい

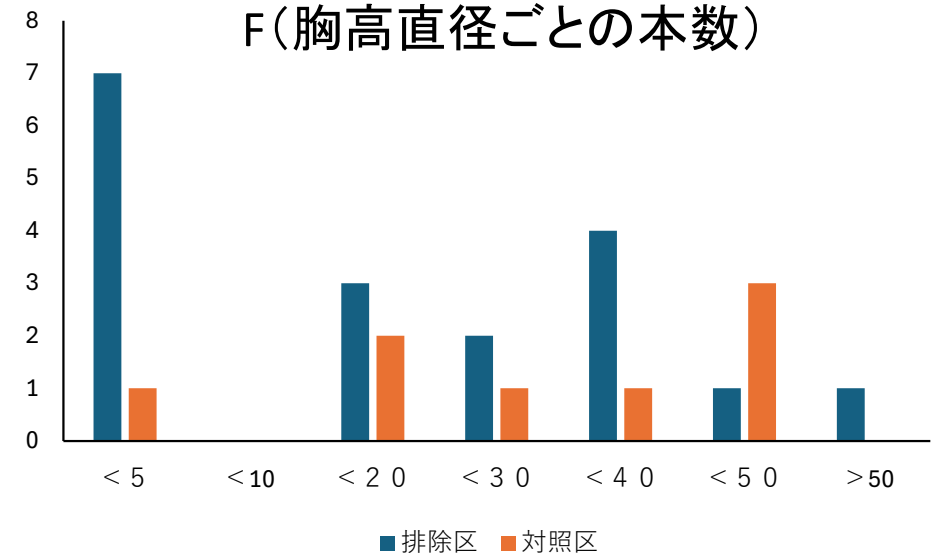
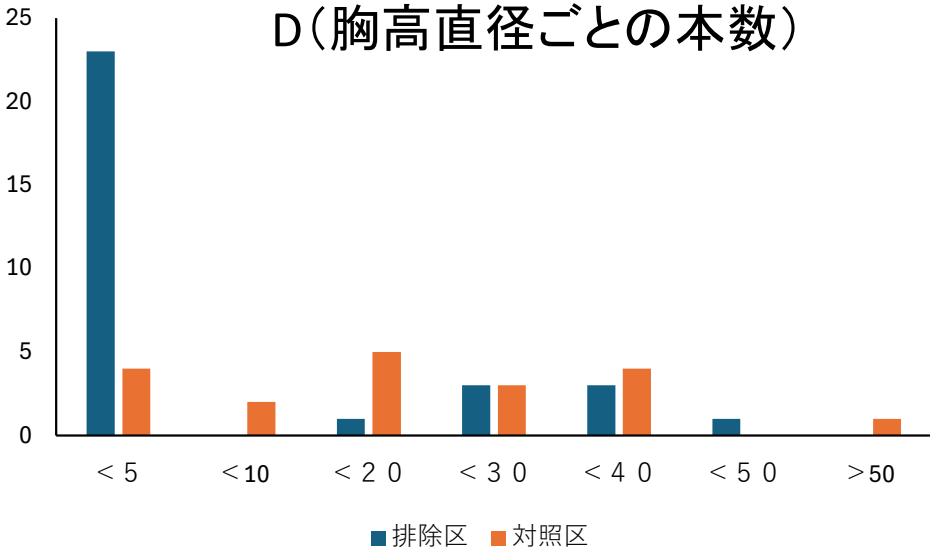
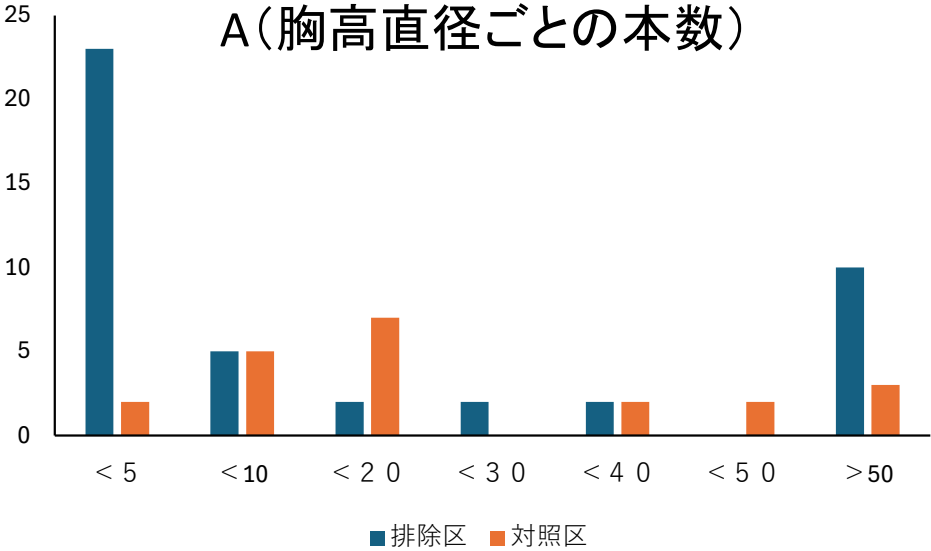


排除区A



対照区A

阿寒湖畔森林：毎木調査



	A		D		F	
	排除区	対照区	排除区	対照区	排除区	対照区
成長率	4.64	2.35	5.05	1.92	7.93	15.55
枯死率	2.38	4.76	17.50	6.25	33.33	12.50
加入率	33.33	0.00	32.50	0.00	14.81	0.00

- ・対照区での加入は0
- ・5年ごと調査でも傾向は変わらず

阿寒湖畔森林：稚樹調査

	A		D		F	
	排除区	対照区	排除区	対照区	排除区	対照区
枯死率	42.50	77.77	66.67	95.45	55.56	90.91
加入率	61.90	22.73	78.57	27.59	73.53	16.67
広葉樹枯死率	42.11	100.00	66.67	95.24	55.56	100.00
針葉樹枯死率	66.67	55.60	—	100.00	—	50.00

- ・対照区では広葉樹の枯死率がほぼ100%
- ・排除区では、エゾウコギ、トカチスグリ、ハシドイ、エゾニワトコ、シウリザクラなどの加入や成長が確認
- ・対照区で加入が見られた広葉樹はほぼシウリザクラ

阿寒湖畔森林：指標種調査

		A		D		F	
		排除区	対照区	排除区	対照区	排除区	対照区
オシダ	食痕率	15.38	93.33	0.00	100.00	7.50	97.50
	平均草高	98.00	16.00	33.50	20.00	86.92	24.74
サラシナショウマ	食痕率	0.00	16.67	0.00	16.67	0.00	-
	平均草高	108.00	15.00	43.00	15.00	97.00	-

- ・対照区ではオシダはほとんどに食痕
- ・サラシナショウマの食痕が増加傾向

摩周カルデラ: 植生調査

調査区1

2019 2025

- ・被度の比較
- ・調査区1でノリウツギが消失
- ・調査区2でササが増加

クマイザサ	71	80
シラネワラビ	33.6	26
イワノガリヤス	15.4	12.42
ノリウツギ	13	0
ホザキナナカマド	9	0.6
チョウセンゴミシ	2	0
ミミコウモリ	0.02	1.02

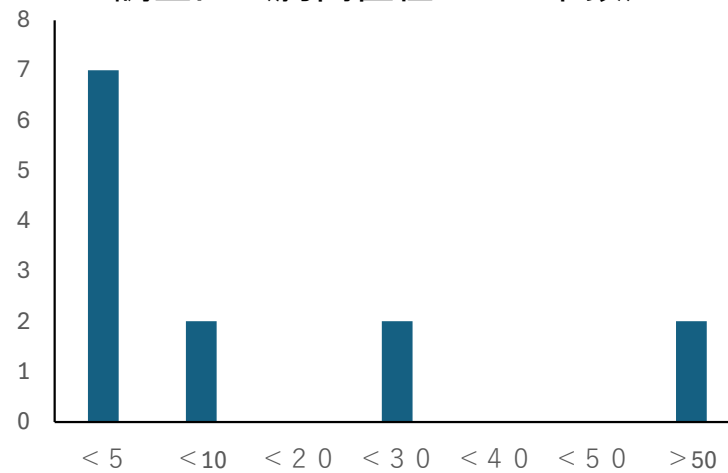
調査区2

2019 2025

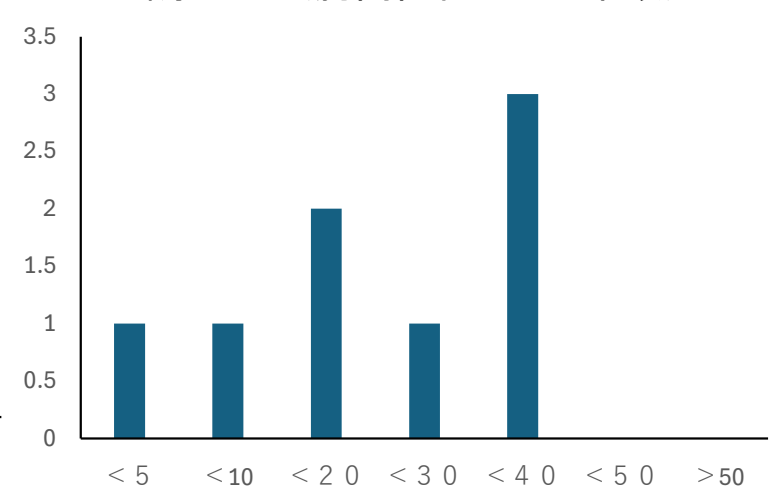
シラネワラビ	50	41
エゾミヤコザサ	6.62	43
スゲsp.	4.8	5.2
イワノガリヤス	25	20
ヤマドリゼンマイ	16	14
ハナヒリノキ	4	0.2

摩周カルデラ: 毎木調査

調査区1(胸高直径ごとの本数)



調査区2(胸高直径ごとの本数)



和琴半島:植生調査

	2019	2025
アキノエノコログサ	1.67	0.00
クルマバナ	0.00	0.67
ススキ	3.33	1.67
ツボスミレ	20.00	7.33
テンツキ	30.00	8.33
ヌカキビ	17.00	1.67
メヒシバ	12.00	14.00
ミズゴケ spp	30.00	21.67
クチキゴケ sp	1.33	1.33
ハイゴケ sp	23.33	28.33

- ・噴気孔植生を特徴づけるテンツキではエゾシカの食痕が確認され、被度も大きく減少した